

第8次中期計画3か年進捗管理表（令和3年度）

基本方針	重点方針	実践方策	具体的取組事項	担当部署	令和3年度目標値	実績値	評価 (達成度%)	主な取組事項 と課題	今後の方針・取組
1 「農業者の所得増大」 「農業生産の拡大」を通じた活力ある地域農業への挑戦	1 農業生産基盤の強化と地域の課題解決	1 新規就農者や定年帰農者など新たに農地の受け手となる地域の担い手の育成と確保	1 関係機関等と連携したIターン・Uターン向け新規就農者募集イベントへの参加	営農企画課 営農指導課	年1回以上	6回	100.0%	コロナ禍のため、今治市とリモート開催を実施しました。	次年度も出展します。
		2 農地の集約や流動化による農地の有効活用と耕作放棄地対策強化	2 「地域農業リーダー」の育成研修会等の実施	営農企画課	年3回以上	—	—	コロナ禍の影響により、見送りとなりました。	今後も状況を見ながら対応していきます。
			3 農地の活性化と耕作放棄地抑制に向けた農地の流動化	営農企画課	前年対比110%	前年対比100%	90.9%	継続して情報収集を行いました。	継続して耕作放棄地の管理推進を行います。
	2 農畜産物の生産と販売体制の整備と強化	1 生産と連動した販売戦略	4 トップセールスをはじめとする管内農畜産物の販売促進活動	営農販売課	年間12回以上	3回	25.0%	コロナ禍の影響により活動が制限され、思うように活動できませんでした。	メディア媒体（サントリー・郵便局とのコラボ）を通じてセールスを仕掛けます。
			2 直販体制の充実と強化	5 残留農薬分析室を活用した、食の安全・安心に対する意識の向上	直販課	月5検体	年間138検体	100.0%	引き続き、食の安全・安心に対する意識の向上の啓蒙を進めます。
		6 出荷量の増加と実需者ニーズ対応強化による委託販売品取扱高の伸長		直販課	販売高15.5億円	13.38億円	86.3%	猛暑や暖冬等、気候変動による収穫期の前倒し、コロナ禍による集客数の減少が影響し低価格設定となり、目標に届きませんでした。	農家の所得向上に向けた講習会の開催や品種別価格情報の発信を行います。
		3 指導員の巡回強化による主要品目の生産量と販売量の拡大	7 出向く営農体制の充実と強化	営農指導課	担い手巡回月50件以上	50件	100.0%	月50件以上の巡回指導を実施しました。	広域指導体制での巡回指導を徹底します。
			8 きゅうりの生産拡大	営農指導課	面積 1,290 a 出荷量 903 t	1,090a 730 t	84.4%	地区別で栽培講習会・選別講習会を実施しました。	増反・新規栽培者の推進を強化します。また、若手農家を中心に、指導を徹底します。
			9 里芋（伊予美人）の生産拡大	営農指導課	面積 1,700 a 出荷量 425 t	3,299a 803 t	100.0%	新規者の増加 労働力支援体制整備 県内生産拡大に伴う選果収容量の確保	栽培規模に見合う機械化体系の提案 新たな新規者層の開拓（兼業・退職者）
			10 はれひめの生産拡大	営農指導課	面積 4,700 a 出荷量 600 t	4,340a 487t	92.3%	隔年結果 病害対策	樹勢回復の徹底 マルチ被覆推進
			11 紅まどんなの生産拡大	営農指導課	面積 4,100 a 出荷量 550 t	4,810a 428t	100.0%	露地の数量 大玉比率の向上	施設化推進 摘果の徹底
			12 甘平の生産拡大	営農指導課	面積 5,600 a 出荷量 560 t	6,760a 365t	100.0%	隔年結果 裂果対策	栽培管理の徹底 栽培試験
			13 キウイフルーツの生産拡大	営農指導課	面積 3,500 a 出荷量 550 t	3,108a 334t	88.8%	自然減少 老木多い	棚助成推進 園地流動化
		14 花木の生産拡大	営農指導課	面積 720 a 出荷量 280千本	700a 149千本	97.2%	新規栽培者相談、推進 新規栽培者拡大	出荷説明会 出荷者数・出荷量拡大	

第8次中期計画3か年進捗管理表（令和3年度）

基本方針	重点方針	実践方策	具体的取組事項	担当部署	令和3年度目標値	実績値	評価 (達成度%)	主な取組事項 と課題	今後の方針・取組			
			15	きゅうりの販売拡大	営農販売課	販売高 22,500万	15,816万円	70.3%	野菜全般の価格低迷により、生産量は増加しましたが、価格面で苦戦しました。	更なる産地化の推進を行います。		
			16	里芋（伊予美人）の販売拡大	営農販売課	販売高 7,800万	16,858万円	100.0%	野菜全般の価格低迷により、生産量は増加しましたが、価格面で苦戦しました。	更なる産地化の推進を行います。		
			17	はれひめの販売拡大	営農販売課	販売高 19,000万	13,940万円	73.4%	プライベートブランド商品である「瀬戸の晴れ姫」を中心に販売拡大に努めました。	安定出荷ができるよう継続して商品管理と産地づくりを進めます。		
			18	紅まどんなの販売拡大	営農販売課	販売高 43,000万	31,785万円	73.9%	ふるさと納税等の販売増で拡大しました。	安定出荷ができるよう継続して商品管理と産地づくりを進めます。		
			19	甘平の販売拡大	営農販売課	販売高 31,900万	19,740万円	61.9%	出荷規格、時期の見直しを進めました。	安定出荷ができるよう継続して商品管理と産地づくりを進めます。		
			20	キウイフルーツの販売拡大	営農販売課	販売高 24,700万	15,512万円	62.8%	生産振興と生産拡大が一番の課題で、生産量の拡大が最重要項目です。	コロナのため、外国産キウイの輸入が滞っているので、品質管理を徹底しながら有利販売を行っていきます。		
			21	花木の販売拡大	営農販売課	販売高 3,600万	1,893万円	52.5%	作付け面積は増えていますが、出荷段階での計画出荷が、構築できていないのが課題です。	輸入花卉の減少により、国産花卉の需要が伸びています。花卉事業を始めて5年。これからは本格的な販売になります。		
	3	農業経営支援 の充実化	1	経営管理・分析支援体制の充実	22	指導員と連携した青色申告部会員の農業経営分析と経営支援	営農企画課 営農指導課	年間50人以上	50人	100.0%	青色申告支援を実施しました。	他部門と連携して進めます。
			2	農業者の所得維持・増大への取り組み	23	生産資材品目のうち、量販品目の価格交渉	経済課 営農指導課	50品目	50品目	100.0%	集約品目から単品化へ順次移行を行いました。	品名の洗出及び業者との価格交渉をしていきます。
					24	農業機械の安全・安心な使用と費用軽減に向けた事前及び格納前点検・整備	経済課	点検整備年間300件	360件	100.0%	事前点検・整備を実施しました。	引き続き安全・安心を心掛け実施します。
			3	補助事業等の活用による農業生産基盤の拡大	25	実態に沿った補助事業の要望について国・県・市町への要望を強化	営農企画課 各課	年12回要望調査・実施	12回	100.0%	次期作支援交付金61件受付しました。	今後も行政等と連携して実施します。
26	金融部門と連携した農業融資制度の利用拡大に向けた検討会開催	営農企画課 各課			月1回	12回	100.0%	担当者と打ち合わせし、農家訪問を実施しました。	指導員月例会にて検討します。			
4	部門間連携による総合的営農支援体制の整備	27	農業メインバンク機能発揮に向けた、担い手への深耕活動	資産相談課 営農指導課	担い手との面談 年450回	470回	100.0%	営農指導の強化による長期的な経営基盤の安定に取り組みました。	営農技術指導と財務面指導を総合的にサポートしていきます。			

第8次中期計画3か年進捗管理表（令和3年度）

基本方針	重点方針	実践方策	具体的取組事項	担当部署	令和3年度目標値	実績値	評価 (達成度%)	主な取組事項 と課題	今後の方針・取組
協同組合の 役割発揮による地域 活性化への貢献	1 総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮	1 元気で健康な地域社会・人づくり	1 行政や厚生連・女性部と連携した健康増進活動	組織広報課	年4回実施	4回	100.0%	女性部・厚生連と連携した健康増進活動を実施しました。	今後も、健康増進活動を通じて、元気で健康な地域社会・人づくりに努めていきます。
			2 小規模多機能型居宅介護事業の登録定員の増加	生活福祉部	定員常時25名、看取り加算算定	17名	68.0%	年度当初は順調に推移しましたが、9月に4名減少し増加できませんでした。	病院との連携について検討していきます。
			3 歯科診療事業での、在宅訪問件数の増加	生活福祉部	毎月40件	320件	100.0%	訪問、施設ケアを重点的に取り組みました。	令和3年12月に歯科診療事業は医療法人に事業移管しました。
		2 地域を守る生活インフラ機能の充実	4 生鮮部門の強化	店舗課	供給高構成比58%以上	57.9%	99.8%	コロナ禍の影響で別注の減少が響き、達成できませんでした。	生鮮部門（青果、精肉）の強化を継続します。
			5 葬儀シェアの確保	葬祭部	シェア22%以上	22.60%	100.0%	ポスティングによる認知度向上を図りました。	継続して認知度向上に努めます。
			6 LPガス供給量の確保	LPガス課	年間供給量900t	716.7t	79.6%	燃料転換推進・ガス暖房機普及推進を行いました。	次期3か年においても継続して推進を行います。
			7 営業力強化による新規車検獲得	自動車課	年200台以上獲得	205台	100.0%	新規車検推進、内部利用推進を行いました。	次期3か年においても継続して推進を行います。
	3 地域実態・ニーズを踏まえた総合事業の役割発揮	8 専門家との相談ネットワークの構築を踏まえた個別資産相談の実施	資産相談課	個別資産相談年80件	86件	100.0%	農地相談、不動産相続人の承継問題について対応しました。	不動産売買、税務支援、就農者への不動産支援について検討していきます。	
		9 年金受給者数の増強による管内シェアの向上	推進指導課	年金口座件数 23,700件	21,951件 (期首比65件)	3.7%	笑福定期貯金を活用した年金獲得に取り組みましたが、予約者の困い込みができておらず、新たな獲得が伸びませんでした。	総合的な提案活動が実践できるような指導・管理の徹底を行っていきます。	
	2 多様な関わり・結びつきによる地域コミュニティの活性化	1 多様な結びつきを通じた、地域コミュニティの活性化	10 組合員・地域住民・役職員が参画した1支店1協同活動の実施	企画管理課	全支店実施	全支店	100.0%	「ひまわり大作戦2021」投稿写真を取り纏め、ポスター作成を行いました。	次年度の検討を進めます。
			11 組合員組織と一体となった次世代への食農教育の充実	組織広報課	年10校	14校	100.0%	次世代への食育活動として、14校への出前事業を実施しました。	食育活動を通じた次世代への「食と農」への関心・大切さを伝える取り組みを継続して進めます。
		2 地域の多様な組織との連携強化	12 元気高齢者へ対応したミニデイサービスの機能強化	生活福祉部	年90回開催	331回	100.0%	コロナウイルスの感染者が減少し、活動再開しています。	引き続き元気高齢者支援を行います。
	3 正・准組合員のメンバーシップ強化・仲間づくり	1 複合利用・複数参加によるメンバーシップの強化	13 住宅ローンご利用者先への感謝訪問を通じたサービス強化	資産相談課	感謝訪問 1,000件	1,000件	100.0%	年間を通じて、感謝訪問活動を行い、サービスの強化を図りました。	感謝訪問を通じ、更なる複合提案にて取引深耕を図ります。
			2 新たな仲間・絆づくり	14 ニーズに即した保障提供によるNPの獲得	金融企画課	獲得数 年1,000人以上	758人	75.8%	ニューパートナー獲得に関する取り組み意識に格差があり、目標達成できませんでした。
		15 組合員数40,000人をめざした新たな仲間づくりへの取り組み強化		組織広報課	40,000人	36,037人 448人減 (561人加入)	0.0%	組合員特典を記した加入促進チラシを作成し、各事業所へ設置するとともにHP・広告媒体やイベント等においても「新たな仲間づくり」への呼びかけを行いました。	JA事業への理解醸成とともに、新たな組合員メリットの創出について検討を進めます。

第8次中期計画3か年進捗管理表（令和3年度）

基本方針	重点方針	実践方策	具体的取組事項	担当部署	令和3年度目標値	実績値	評価 (達成度%)	主な取組事項 と課題	今後の方針・取組		
地域の持続的な発展を支える、組織・経営基盤の確立・強化	1	「食」「農」「協同組合」への理解の促進	1 多様な広報戦略による情報発信	1 地域コミュニティ誌や各メディアを活用した情報発信の強化	組織広報課	ジャワジャワ発行 プレスリリース年12回	プレスリリース12件	100.0%	プレスリスを活用した情報発信を12件実施しました。また、令和3年度は日本農業新聞移動編集局を開局し、年間80本の投稿を行いました。	各メディア媒体を活用した幅広い情報発信について、今後も取り組んでいきます。	
			2 農業及び協同組合の役割・存在意義の理解促進	2 自己改革の進捗管理と取組状況を組合員・地域住民と共有	企画管理課	年2回の説明実施	4回	100.0%	進捗状況の報告を四半期ごとにホームページ掲載して組合員との共有を図りました。	今後も進捗確認を行い、取り組み状況の周知を図ります。	
	2	地域に根ざした協同組合運動者としての人づくり	1 組合員のための学びの場づくり	3 組合員、地区検討委員等に向けた勉強会の実施	総務課 組織広報課	年1回以上開催	1回	100.0%	広報誌による情報提供と、次期3か年の取り組みについて準備を進めました。	引き続き、様々な媒体を活用し情報提供に取り組みつつ、次年度に向け検討を重ねます。	
			3 中長期的な視野に立った職務能力の向上	4 営農指導員育成に向けた体制の構築検討会	営農指導課 営農企画課	年4回	4回	100.0%	各検討会を実施しました。	広域指導体制の整備を進めます。	
				5 各関係団体と連携した計画的な専門研修への参加	生活福祉部	年延べ40名（各関係団体）	延べ46名	100.0%	コロナ禍により、リモート会議で対応しました。	各種会議等に積極的に参加していきます。	
				6 支店巡回による支店管理者指導	推進指導課	支店巡回指導 年12回	月1回以上実施	100.0%	セグメント戦略会議・渉外チェック訪問時に指導しました。	支店との橋渡しがしっかりとできるように取り組んでいきます。	
	3	将来を踏まえた経営基盤の確立	1 健康的な経営基盤の確立に向けた、長期的な収益確保及び財務基盤の安定化	7 債権管理の強化による不良債権の低減	審査管理室	不良債権比率0.5%以下	0.333%	100.0%	月例対策会議を行いました。	初期段階での管理・回収を徹底します。	
				8 自己資本の継続管理による財務基盤の安定化に向けた提案の実施	企画管理課	シミュレーション更新と提案年1回以上	1回	100.0%	自己資本比率の推移表を作成し、報告しました。	引き続き検討を進めます。	
				9 事業管理費削減に向けた使用状況の適正化	総務課	通信費・水道光熱費前年対比1.5%削減	通信費103.6% 水道光熱費104.1%	95.0%	原油価格高騰等の外部要因や事業所再編等にかかる費用増により、計画達成できませんでした。	引き続き、施設管理費の削減プロジェクトを進めます。	
	4	内部統制・コンプライアンス態勢の確立・強化	3 事業継続管理（BCM）の対策と実践	10 災害時の体制の再整備と事業継続管理（BCM）の実践	コンプライアンス統括室	説明会と訓練の実施 年1回	3回	100.0%	企業防災研修会・防犯訓練・非常時ジャステム訓練等実施しました。	次年度以降も継続して実施します。	
				1 内部統制の整備及び運用	11 内部統制整備による事務処理マニュアル・業務フローの整備と職員への周知及び知識向上	コンプライアンス統括室	フォローアップ 年2回以上	26事業所	100.0%	業務フロー点検を実施しました。	今年度の業務点検結果により、次年度は選定した事業所を主に実施します。
				2 コンプライアンスの徹底による信頼の確保	12 衛生管理の徹底に向けた衛生検査及び研修会の実施	店舗課	年1回	1回	100.0%	7月に衛生調査を全店店舗実施しました。	引き続き調査結果を基に改善に取り組めます。